



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2012 - 2013)

- 国際協会会長(IP) Philip Mathai (インド)
"Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
スローガン "Share your blessings in love"
「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長(AP) Oliver Wu (台湾)
"Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
スローガン "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事(RD)成瀬 晃三(名古屋クラブ)
"Let Y's men Light Shine Ohters In the club, in the community, in the world"
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン "Devote Yourself Y'sdom and Get More Satisfaction!"
「ワイズメンの満足度向上に真摯に取り組もう」
- 六甲部部長(DG)上野 恭男(芦屋クラブ)
『柔軟な創造で愚直に積極的に、ワイズライフを楽しもう!』
"With the heart filled with creative evolution, Let us enjoy Y's life faithfully and constructively"
- 西宮クラブ会長(CP) 長井 慎吾
『親睦と奉仕の実践でやりがい湧かそう!』 "Let's enhance Y's spirit friendship and service activity!"

2012年 10月

第774号

≪66期-04号≫

Since 5.17.1948 →

5.17.2013 : 65周年

クラブ主役員

会 長 長井 慎吾
次期会長 堤 一幸
直前会長 濱崎 進一
副 会 長 山本 常雄
書 記 馬場 一郎
書 記 藤原百合子
会 計 足立 康幸
会 計 土橋 哲夫
監 事 岩田 健司
担当主事 宗行孝之介
部ファンド主査 濱崎 進一

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結(2007)
近江八幡クラブ
広 島クラブ

2012年10月 西日本区強調ポイント "BF" 岡野 泰和 ファンド事業主任 (大阪土佐堀クラブ)

- 「世界につながる、世界つなげるブラザーフッド基金(BF)。使用済み切手収集から始まる国際交流の輪。あなたの貢献で世界のワイズはつながる。」

2012年10月第一例会のご案内

日時: 2012年10月21日(日) 10時~15時(集合9時)

会場: 西宮YMCA 保育園

ドライバー: 山本常雄メン、土橋哲夫メン

実行委員長: 堤 一幸メン

1. 開会礼拝 市原牧師
2. 開門 10時
3. 西宮YMCAカーニバル(第一例会に兼ねる)
4. 抽選会・集計
5. 閉会 15時
6. 後片付け・清掃

※西宮クラブは「のみの市」と「カレーショップ」を担当
前日の20日(土)13時より準備・値付け作業を行います。(メイクアップ可) 西宮クラブの主として男性は玄関周辺の警備もお願いします。

※次回 第二例会: 2012年10月5日 19時~

今月の聖句

『悲しむ人々は幸いである。』

その人たちはなぐさめられる。』

マタイの福音書 第5章3節 - 4節

浅野メン 選

9月 例会出席状況 在籍会員数 23名

第1例会(9.22土) 第2例会(9.7金)

メ ン・ウイメン 17名 メ ン・ウイメン 14名

メ ネット・コメット 3名 メ ネット・コメット 0名

ゲ ス ト・ビ ジ ター 0名 ゲ ス ト・ビ ジ ター 0名

合計 20名 make-up 3名 計 14名

出席率 87.0% (累計出席率 94.2%)

ファンド・BFの累計

	9月	累計
ニコニコ ファンド	2,000p	6,000p
Brotherhood Fund (BF)	0p	11,400p
使用済切手	0g	0g
東日本大震災支援ファンド	0p	24,800p
TOF・FF/EF・JWF	0p	0p

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

10月9日 廣瀬敦子メネット、10月12日 万本恵メネット

〒662-0977西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 毎月第3金曜日 19時~

TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南

西宮クラブホームページ URL: <http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/html> (YMCA経由)

<http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/index.cgi> (西宮公式HP)

西日本区ホームページ URL: info@ys-west.or.jp (理事通信、事業主任通信、各種資料、各クラブ他)

我らのモットー：To acknowledge the duty that accompanies every right !

(強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う)

【会長メッセージ】

長井 慎吾 会長



9月例会は、西宮YMCAの課題を考えるセミナー形式で行いました。

YMCAの課題をお聞きし、グループに分かれてYMCAの強みや弱み、脅威やチャンスについて意見を出し合いました。

YMCAの良さは何か、それを保護者や社会にどう上手く伝えればよいのか。野外活動やサッカーに来る子供たちは、減少傾向にあり、8年前の3割程度に減少しているとのこと。YMCAが行っているキリスト教を基盤とした教育活動は間違いなく良いものであると思います。しかし、子供たちが参加してくれなければ教育はできません。こどもと青年を取り巻く環境は、いじめ、虐待、不登校など課題山積みです。

YMCAの野外活動を経験し、リーダーとなった青年が、いじめや虐待をすることは思えません。野外活動を経験し、リーダーに憧れてそうなる子供たちが増えることを望みます。願わくば、次にワイズとなってくれたら申し分ありません。子供たちを前に、テキパキとリーダーシップを発揮する青年リーダーを保護者が見たら、自分の子供もこんな風な青年に育ててほしいと思うのではないのでしょうか。私たち西宮YMCAを支援するワイズメンズクラブは、この良き運動が広がり、一人でも多くのこどもと青年に活動を経験してもらえるよう、どうしたらYMCAのプログラムに子供たちが来てくれるのか、保護者が他を差し置いても、YMCAを選んでくれるのか。創意工夫して支援をしていきたいと思ひます。

で行いました。

ワイズの第一の目的は「YMCAを支える」ということであるということは周知のことでありながら、ワイズメンひとりひとりのYMCA理解はさまざまですし、ともすればYMCAとしても発信不足であることは否めないところではあります。互いに胸襟を開いてYMCAの「強いところ」、「弱いところ」、YMCAに対する「脅威」、またYMCAにとっての「チャンス」など、ワイズメンそれぞれの視点でポストイットで具体的に書き出し、模造紙に貼り付けて意見の交換を行いました。会長の示唆もあり、YMCAの欠点をことさら強調するのではなく、今後どうして行くのが良いかという建設的な議論が活発に行われました。

最後にこの結果をもとに11月に予定されているファミリープログラムに反映させようということで終了。あつという間の2時間半でした。そのあと、会長から宮古訪問の報告がなされ(くわしくは別項で)、賀川記念館ミュージアムの見学、そしてその名も「天国屋カフェ」の心づくしの料理を頂きながら交わりのときを持ち、8時に会を閉じました。準備、実施に際して賀川記念館には多大のご尽力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。(宗行孝之介)



【例会報告】

馬場一郎メン、宗行孝之介メン

日時:2012年9月22日(土)14時~20時

会場:賀川記念館4階チャペル



【出席者】浅野、足立、石井、岩田、小野、堤、土橋、長井、馬場(一)、濱崎、藤原、万本、三島、宗行、山口(政)、山口(吉)、山本各メン・ウイメン計17名。宮地、山口(洋)、山本各メネ

ット。合計20名。【ゲスト】ゲストスピーカー:宗行孝之介メン

9月第一例会は、賀川記念館をお借りして行いました。今回は西宮YMCAについて考えようということで、長井会長の趣旨説明を受けて、宗行メンから「私のYMCAストーリー」と題してプレゼンテーションが行われ、その後西宮YMCAの「SWOT分析」を4グループに分かれてワークショップ形式



【宮古派遣第二便報告】

馬場 一郎メン

9月1日(土)から4日(火)まで、西宮ワイズメンズクラブ有志



7人で岩手県宮古市、盛岡市を訪問してきました。

昨年6月に宮古を訪問し、現地の障がい者施設で作る「いきいきフェア実行委員会」と話し合いをし、その委員会を構成する施

設で作られる製品を神戸、西宮で販売支援することになりました。私の所属する賀川記念館で宮古ショップを常設し、YMCAや教会関係のバザーなどで販売してきました。

今回宮古を訪問し、各施設を回り、現状を知り、顔の見える関係を作りたい。そして販売支援に関して、また今後のことについて話し合いの時間を持ち、ご意見を伺い、長く継続していくための方策、改善点を模索したいと思いました。その上で西宮ワイズメンズクラブとしての今後の継続した支援の在り方を考えたい。そのような目的をもって臨んだ宮古訪問でした。

9月1日7:00、大雨とみなさんの激励の中、西宮YMCAを出発、2時間ごとに運転を交代しながら、14時間かけて宮古ボランティアセンターに到着しました。現在はセンター長、大谷昭雄さん(横浜YMCA)、ディレクター、木田泰之さん(大阪YMCA)が1年間役割を担われています。

快く受け入れていただき、9月2日、宮古教会の聖日礼拝に出席、森分和基先生のお話を聞きました。森分先生は宮古ボランティアセンター立ち上げ時から、協力者としてセンターの仕事を支えていただいている方です。教会の全面的な協力の上に成り立っているように思います。昼食後午後から、いきいきフェア実行委員会代表の昆野香代子さんと仲田さんに同行いただき、施設を回りました。その日は「アトリエSUN」、「宮古アビリティセンター」、「あびさあべとグループホーム」を訪問しました。

3日は、「はまなす学園」、「ハックの家」、「いずみの里」を訪問。「はまなす学園」は津波で全壊した施設です。津波が来る直前に全員をバスで高台へ避難させることを決断され、全員無事だったそうです。隣の高齢者施設は避難の判断が遅れ、数十名が亡くなられたとお聞きしました。その後、青少年の家に身を寄せ、また廃業したホテルに移り、現在は福祉仮設住宅に入られています。九死に一生を得て、その後も苦難続きの現状をお聞きし、また笑顔で迎えてくれた施設の利用者を見ていると胸の詰まる思いでした。「ハックの家」は津波で水産加工場をなくしましたが、仕事をなくした地域の方々のために裂き織の縫製の仕事を近隣の主婦の方々にお願ひし、地域の復興にも大いに力を発揮されていました。このような現状をみてさらに思いを新たにしました。

宮古ボランティアセンターの大谷さん、木田さんにもお話を伺いました。具体的に支援活動が見えていた時期は終わり、現在はコミュニティーに入り込んでいかないと課題が見えてこないということ、子どもたちへのキャンプ、野外活動を通して心のケアを行っていることもお聞きしました。

3日の夜には盛岡市内で「もりおかワイズメンズクラブ」と交流の時を持ち、DBCを結ばれている「芦屋クラブ」からの義援金を、また「西宮クラブ」から「盛岡YMCA」へ震災救援のための支援金をお渡ししました。

これから西宮ワイズメンズクラブとして何ができるか、また継続していくためには・・・、いろいろなことを考え、みんなで話し合い、宮古の人々を思いながら、実践していきたいと思います。送り出してくださったクラブのみなさんに感謝するとともに訪問者7名の皆さん、お疲れ様でした。西宮クラブからご一緒に宮古を訪問した7人の内、私以外の6人の方々のショートコメントはブリテン第二部に掲載しております。



高台にあったために津波の難を免れた愛宕小学校は2012年3月で廃校になり現在は被災者仮設住宅になっている



仮設住居群



宮古ボランティアセンターの前で、今までに宮古ボランティアセンターで左から石井、山本、長井、浅野、馬場(一)、小野、瀧崎の各メン



働いたボランティアたちの写真が貼られてあった。これが3枚あった。



賀川記念館より開設が7か月早い宮古教会。1933年に賀川先生が来訪された記録があった



礼拝後、教会の皆様とのティータイムの交流の時を持った



もりおかクラブ古澤会長に芦屋クラブから託された義援金を手渡す(盛岡市内)



もりおかクラブと西宮クラブの交流会もりおかクラブの皆様お世話になりました。“盛岡DAON”(方言「だもの」や「だよーん」に近いそうです)

【六甲部会報告】

土橋 哲夫メン



9月8日(土)ホテル竹園芦屋で、2012-2013年度六甲部会が開催されました。中道神戸YMCA副会長、水野神戸YMCA総主事、成瀬西日本区理事らの来賓・西日本区役員、中部をはじめ他部からのメンバー、及び六甲部関係81名を含め総勢140名を超える出席者が集まりました。西宮クラブから足立、石井、小野、堤、土橋、長井、万本、山口(政)の各メン、廣瀬、山口各メネットの合計10名が参加しました。

六甲部会の前に、神戸ポートクラブ大野メネットの司会でメネットアワーが持たれた。西日本区野村靖子メネット事業主任より8月に開催されたノルウェー国際大会でも公開された東日本大震災のDVDが流され支援が呼びかけられた。

部会に先立ち、加輪上六甲部事務局長の司会で、バナーセレモニーに続き、上野六甲部部长による開会宣言・点鐘。部長挨拶では急逝された故飯田義雄次期六甲部長が、「部会は歌って楽しくしよう」と企画されたことが紹介された。

引き続き、神戸女学院大学音楽学部声楽専攻卒業生8名から成る「Petit A Petit」(ピアノ:金月 里沙さん)の演奏会があった。「ウィーンわが夢の街」など、親しみやすい演奏と美しく上品なハーモニーを鑑賞させていただきました。

次に、懇親会では、この日のために作っていただいた『みんなで歌おう 歌詞集』をもとに、『六甲部部会8クラブ歌の対抗戦』が行われました。わが西宮クラブは、リードボ



ーカル・万本メン、セリフ・長井メン、バックコーラスをメンバー全員で、加山雄三の「君といつまでも」を歌いました。ぶっつけ本番でしたがそれなりに楽しかった

です。厳正な審査の結果、宝塚クラブ定番「フラダンスチーム」や、さんだクラブの「アンパンマン」など、趣向を凝らしこの日に臨んでおられ、当クラブは残念ながら入賞を逃しました。最後は参加者全員で輪になって「歌いまくる」部会を締めくくられた。

この部会に参加して、六甲部会のメンバーがより親しく、



上野部長が提唱された「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」をこの一年間実践したいと思いました。



【ふれあいフェスティバルに出店】

石井 恭子ウイメン

西宮クラブでは、残暑厳しい9月17日(月・祝)の敬老の日、西宮市役所東側の「六堪寺公園」で開催された「第5回ふれあいネットワークフェスティバル in 西宮」に昨年に引き続き出店しました。この催しは、私が所属する(社)西宮青年会議所 OB が中心となり、西宮市内の障がい者施設で製作した品等を販売して、障がい者の自立に寄与するものです。

ちょうど9月初旬に宮古市内の障がい者施設を周り支援の調査をしてきたばかりで、その製品を販売しました。クラブからは、製品を持ち込んで下さった馬場(一)メン、足立、岩田、小野、堤、長井、濱崎、廣瀬、山口(夫妻)、山本、石井の各メン、そして交通事故から復帰したばかりの浅野メンからご奉仕いただきました。また、六甲部(芦屋クラブ)の上野部長、柏原書記、神戸クラブの進藤会長、神戸ポートクラブの鈴木監事や、石井衆議院議員、河野市長、昨年例会でお話頂いた高橋市議も顔を見せられご協力下さいました。

お買い上げ頂いた方の中には、「被災地には行けないので、少しでも支援になるなら」と言って下さる方もあり、全体で44,700円(Tシャツを含む)を売り上げ、昨年以上の成果がありました。また、出店している西宮市内の障がい者施設等の方とも、被災地の障がい者施設の様子を、お話しする機会ができました。

【触主面(フレッシュメン)登場】

足立 康幸メン

「笑い」と「常識」



悪いことの多い世界には、笑いがなくなり、思い込みに支配されていることがよくあります。皆様も少し頭をソフトにしてください。「笑い」と「お笑い」はよく混同されます。「笑い」は感情表現、「お笑い」は演芸です。

私が学生の頃、漫画は悪い雑誌と言われ「読むな」とよく先生方から言われていました。現在では、笑いで心臓病が治ったという話を聞いたことがありますし、「笑い」と「癒癒力」という本も出ています。

笑いが盛んになったのは、「吉本」やテレビ等の力が大きいと思いますが、寄席に行かなくても、テレビを観なくても、世の中には楽しいことがたくさんあります。

喫茶店で煙草を吸っている人が風邪をひいていて鼻の穴が詰まっているのか、煙が片方の穴からだけ出ていました。これも滑稽です。また電車のホームで、傘を振ってゴルフの練習をする人、本人はまじめにやっているようだが、何かおかしい。子供が昼の半月を見て「お月さん壊れている」と言った。大人には思いつかない言葉ですね。子供は常識にとらわれないのでしょうか。

常識には2つあります。1つは社会生活を営む上でのルールが必要です。ところが、もう1つはどうでもいいことが常識になっています。ピラミッドは横から見ると三角形ですが、上から見ると正方形に対角線が入った形です。反対側から物を見る姿勢も大切だと思います。色々な方向から物を見ると違って見えます。考え方も価値観も皆、思い込みから常識になっているのです。

ここで、いかに皆様が思い込みに支配されているのかクイズを出してみます。

1. 黒豆と白豆を混ぜて大きな鍋で煮ました。炊きあがったので白豆と黒豆を分けました。分けるには1秒とかかからなかった。なぜでしょうか？

2. 高いビルの20階の窓から飛び降りましたが怪我をしませんでした。なぜでしょうか？

これが出来ない人は頭がガチガチですよ。先入感をもたないこと、常識にとらわれないことが大切です。

「ユーモアとは常識にとらわれない見方をするセンス」だと私は思います。人の価値観は思い込みにとらわれることが非常に多いと思います。自由な物の見方で世間を見れば視野が広がっていくと思います。これらのことが特に大切だと思う昨今です。

次月号以降の予定 11月号(10月20日締切)は岡田佑一郎メン、12月号(11月20日締切)は丸山悦治メン、1月号(12月20日締切)は宮地京子メネットにお願いいたします。

【Y's ニュース】

会長 長井 慎吾

1. 宮古グッズ販売活動

9月17日(祝)午前10時～午後4時まで、西宮市役所前広場で「西宮ふれあいネットワークフェスティバル」

が開かれ、石井ウイメンの声掛けで、西宮クラブとして宮古グッズ販売に行ってきました。売り上げ 44,700 円(Tシャツ・



ポロシャツ 16,000 円含む)でした。当日は台風の影響で、蒸し暑く、風の強い日でしたが、たくさんのメン、ウイメン、メネットに参加い

ただき、楽しい時間を過ごすことができました。次は西宮YMCAカーニバルで売りますので、よろしくお願ひします。なお、神戸クラブから進藤メン、芦屋クラブから上野六甲部長、柏原ウイメンにも来ていただき、販売に協力いただきました。ありがとうございました(馬場メンより)。

2. ホームページのリンク

9月20日に六甲部広報委員会が開催され、三島委員と小野メンが出席しました。六甲部各クラブのホームページの内容について、神戸YMCAホームページ管理者 功刀さんも交えて意見交換を実施しました。早速の成果として、神戸YMCAのホームページにワイズメンズクラブ六甲部の表示を作成して頂きました。このボタンから六甲部のホームページにリンクが出来ました。一見してください。

3. 九州北部豪雨災害の緊急支援募金

西日本区を通じて日本YMCA同盟より要請のあった募金に対し、クラブから1万円、9月第一例会の出席者よりの個人募金1万3千5百円を合わせて2万3千5百円を宗行連絡主事にお渡ししました。

【会計報告・お願ひ】

会計 足立 康幸・土橋 哲夫

西宮クラブ前期(7月～12月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても、下記の口座に振込んで頂いても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。

【会費等振込み口座】<通常会計>

振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号: 3230220

口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【じゃがいもファンド等の振込み口座】<特別会計>

振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号: 3289977

口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【今後の予定】

ドライバーの予定(敬称略)

10月(土橋、山本)

11月(小野、濱崎)

12月(丸山、万本)

※60周年記念誌編集作業: 第2・第4金曜中心

10月の予定

5日(金) 第二例会

8日(月祝) 瀬戸山陰部会

12日(金)～14日(日) じゃがいもファンド(12日 18時頃 荷卸し)

20日(土) 九州部会

20日(土) カーニバル準備(午後) 13:00~

21日(日) カーニバル(兼 第一例会)

21日(日) 神戸 YMCA 本館国際バザー

11月の予定

2日(金) 第二例会

3日(土) チャリティラン しあわせの村

6日(火) ワイズデイ

16日(金) 第一例会

23日(金祝)ファミリープログラム

12月の予定

7日(金) 第二例会

15日(土) 第一例会(クリスマス祝会)